

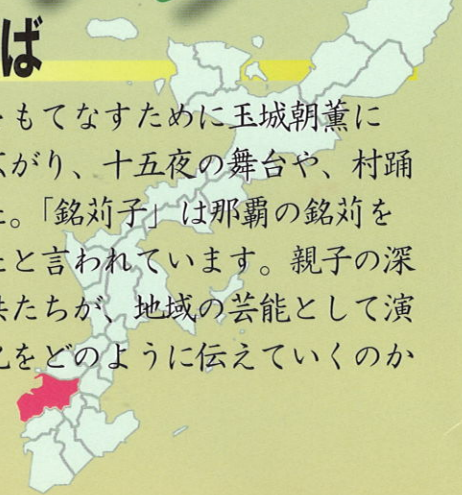
シマ de シンポジウム

那覇の組踊 × しまくとぅば

11
/24

入場
無料

琉球王朝の時代に、中国からの使者をもてなすために玉城朝薫によって創作された組踊は、沖縄中に広がり、十五夜の舞台や、村踊りの出し物として伝えられてきました。「銘苺子」は那覇の銘苺を舞台に、羽衣伝説をもとに創作されたと言われています。親子の深い愛情を描いた作品を銘苺地域の子供たちが、地域の芸能として演じています。子どもたちに沖縄の文化をどのように伝えていくのかを一緒に考えてみませんか。



那覇の組踊

しまくとぅば

日時：2018年11月24日(土)
14時開演

会場：牧志駅前ほしぞら公民館ホール
(那覇市安里2丁目1番地1号)

問合せ：tel. 867-4746 (沖縄県文化協会)

第1部：子ども組踊のデモンストレーション

第2部：那覇の組踊としまくとぅば

コーディネーター：崎山 律子
パネリスト：島袋 光尋
坂井 浩二



コーディネーター／崎山 律子
フリージャーナリスト。那覇市文化協会副会長。沖縄県文化協会アドバイザー。



パネリスト／島袋 光尋
国指定重要無形文化財「組踊」総合指定立方保持者。多くの後進を指導するかわら、銘苺地域の子供たちの指導にも力を入れている。



パネリスト／坂井 浩二
那覇新都心ゆいスポーツ・文化クラブ会長として、子供たちのスポーツと文化の活動を企画運営。銘苺子の組踊にも取り組んでいる。



本事業は「シマ de シンポジウム」と題して各地域の伝統行事や言葉など、毎回2つのテーマを取り上げて、地域文化の現状や課題、それに取り組む方々の思いを伝えていく事業です。
平成30年度 地域の文化継承・発信支援事業